

令和5年度 第3回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和5年9月19日(火) 13:00～
開催場所	神奈川県庁
出席者	(委員) 小宮輝之委員、佐渡友陽一委員、関清美委員、藤崎晴彦委員、間曾さちこ委員 (指定管理者) 横浜市緑の協会
開催形態	非公開
<p><b>1 事業評価の実施方法について</b></p> <p><b>2 令和5年度事業評価(令和4年度分)職員採点について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野毛山動物園で行った国際レッサーパンダデーイベントは、「教育普及業務」として評価されていないのか。 →教育普及業務は指定管理業務の部分でしか評価していないので、別項目の自主事業として評価している。</li> </ul> <p><b>3 指定管理者プレゼンテーション・質疑応答</b> (指定管理者入室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション資料の中で、飼育現場での取り組みの中に、SNS やエンゲージメント数の増加とあったが、広報のための SNS であればマーケティングの中で記載するべきかないか。 →確かにマーケティングの一部でもあるが、今回はエンゲージメント数の増加は、飼育現場の努力を示す指標として掲載した。次年度以降の掲載個所については、今後検討していきたい。</li> <li>・入園者数が伸びていないことについてはどのように分析しているか。 →コロナ禍であった R3 年度と同水準なので厳しい状態だと感じている。</li> <li>・夏は夜の方が入るのであれば、開園時間の変更(朝早くするか夜まで遅く開くかも含めて)を検討しているか。 →検討・議論は行っているが、実施に至るまでは煮詰まっていない状況。</li> <li>・入園者数については、全体の入園者数だけではなく、構成も分析した資料を提示していただいたかった。特に子どもの入園者数は全体の入園者数に大きく影響してくるので。</li> <li>・どうやって来園者に来てもらうかが大切だと思うが、どういった人に来てもらいたいと考えているか。 →親子連れをメインターゲットとしている。顧客ターゲットを想定してどういったアプローチが効果的なのかを職員間で考え、取り組んでいく。また利用者調査でお子様をお連れの方、いない方の回答も得られたので、いない方向けのアプローチも含めて検討していく。</li> <li>・動物を見せるだけではない、動物園の持っている様々な側面があまり伝わっていないと思う。そういった部分に興味がある層は一定程度いると思うので、情報を出すにあたって、どういったものが魅力</li> </ul>	

なのかを明確にすると、幅広い層にアピールできると思う。

- ・非来園者調査をされたことについては非常に良かった。非来園者の「動物園に来ない理由」として多い理由が2つある。1つは「小さい子どもがいないから」、もう1つは「時間がない」。要するに、その人にとって優先順位が低いということ。こういったところをどのようにクリアしていくかが今後の課題になるので、引き続き情報の蓄積と対応策について検討してもらいたい。
- ・動物園に来られない方で何名かの方に来ていただいてグループ方式で課題などを挙げていただくのもいいかと思う。
- ・野毛山動物園はアニマルウェルフェアを意識したふれあい体験ができていますので評価している。金沢動物園は環境省の「認定希少種保全動物園」の認定を受けているだけあってミゾゴイ野生復帰のための放鳥などいい取り組みができています。
- ・ツシマヤマネコの飼育下人工繁殖の功績が認められ古賀賞を受賞したが、保全なのか研究なのかよくわからなくて、古賀賞を取った保全計画の位置づけの内容を教えてください。  
→本来は野生の個体数を増やす、増やせる環境を作っていくのが将来的な目標となってくるが、それには当然時間がかかっていくので間を繋ぐためにも人工繁殖という手段も必要だと思っている。保全の一部だと思うし、研究の一部でもあると思う。
- ・寄附について、今までの努力が一つずつ蓄積され体系化されている印象を受けた。クラウドファンディングだけを繰り返しても発展性がないので、アニマルペアレント、友の会と連携させていくことで動物園を応援してくださる方々を集団として作っていくことが非常に大事だと思う。それが大口寄附にも繋がると思う。
- ・飼育の人材育成はよくできているが、入園者数、寄付といった面での人材育成はどのようになっているか。  
→マーケティング研修、ファンドレイジング研修を実施している。研修を受講する者も増やして、担当者だけではなく組織で対応できるようにしていく。

(指定管理者退室)

(委員意見交換)

- ・動物飼育、アニマルウェルフェアの取り組み、繁殖成績がよくできているので評価できる。
- ・飼育員の人材育成はできているが、それ以外の部分の人材育成が気になる。マーケティング、ファンドレイジングの研修は実施されているが、トータルでどう動物園を管理、運営していきたいのか明確にされていなかったと感じた。

・動物園のマネジメントを専門で行う人を外注したりすることも検討した方がいい。資金集めの部分に関しては、昨年の指摘もあり、HPを見やすく改善をしたことが評価できる。

・こんなに多くの動物を飼育しながら、動物を殺さず、事故、けが人も出さないこと自体が素晴らしい。飼育員の素晴らしい取り組みを掬い取ってマネジメントする人の育成が急務だと感じる。

(採点)

→変更なし

(評価確定)

#### 4 令和5年度第3回横浜市指定管理者選定評価委員会会議録

(資料4について説明)

→了承

次回委員会 11月15日(水) 午後開催